

日本で**唯一**の国立体育大学  
それが

**鹿屋体育大学**



**スポーツ**で**未来**を拓く**自分**を創る

国立大学法人**鹿屋体育大学**  
**サッカー部**



## 沿革

### 成り立ち

- 1984年創部（43年目）
- 全日本大学サッカー連盟
- 近年成績

2023

- ・九州大学サッカーリーグ 準優勝
- ・九州大学サッカートーナメント 準優勝・国体 準優勝
- ・インカレ ベスト16

2024

- ・九州大学サッカーリーグ 3位
- ・九州大学サッカートーナメント 優勝
- ・インカレ ベスト16

2025

- ・九州大学サッカーリーグ 3位
- ・九州大学サッカートーナメント 準優勝
- ・国民スポーツ大会 優勝
- ・インカレ ベスト32

### 活動理念

- ・大学サッカー界全体の競技力向上への努力
- ・フェアプレー精神の理解と実践
- ・思いやりのことや協調性・社会性の習得と自立した人間形成
- ・各種の組織やグループをリードすることのできる人材の養成
- ・豊かなスポーツ文化の振興や社会の発展への寄与

### 活動目的

本学の名誉と伝統を重んじ、大学サッカー精神に則り、サッカーを通して人格の形成、高度なサッカー技能、理論を習得し、心身共に健全なスポーツマンの育成に資すると共に、サッカーの振興発展に寄与すること。

### 所属リーグ詳細

TOPチーム：九州大学サッカーリーグ  
NIFS 1stチーム：九州サッカーリーグ（社会人）  
NIFS 2ndチーム：鹿児島県リーグ（社会人）

### 構成メンバー

#### 指導スタッフ

監督：塩川 勝行  
（コーチング学）  
マネジメントスタッフ：隅野 美砂輝  
（スポーツ経営学）  
NIFS 2ndチーム監督：高井 洋平  
（トレーニング科学）  
TOPチームコーチ：村川 大輔  
（コーチング学/スポーツ心理学）  
NIFS 1stチーム監督：森永 浩嗣  
（トレーニング科学）

#### 部員数

4年生 20名  
3年生 19名  
2年生 18名  
1年生 15名  
大学院生 3名

合計 75名

2026年6月現在

## 年間スケジュール

4月

九州大学サッカーリーグ  
（前期）

10月

九州大学サッカーリーグ  
（後期）

5月

九州大学サッカーリーグ  
（前期）

11月

九州大学サッカーリーグ  
（後期）

6月

九州大学サッカーリーグ  
（前期）

12月

全日本大学サッカー  
選手権大会（インカレ）

7月

九州大学サッカー  
トーナメント

1月

強化期間

8月

強化期間

2月

強化期間

9月

総理大臣杯 全日本大学  
サッカートーナメント

3月

春季合宿

## イベント

### 地域スポーツクラブ指導

大学生がコーチとなり、小学生と中学生にサッカーの楽しさや技術を教えています。

### NIFSスポーツクラブ

■ U12：週3回、幼児サッカースクール：月2回



### NIFS KANOYA FC U-15

■ U15：週3回



### 巡回指導

■ 月1回

近隣の保育園で大学生主体となり、保育園児とボール遊びなどを楽しく行っています。



## 卒業生進路

○現役プレイヤー

吉川 敬進（2025年度卒）大分トリニータ（J2）  
戸田 峻平（2025年度卒）ロアッソ熊本（J3）  
加藤 大晟（2024年度卒）いわきFC（J2）  
渡邊 怜歩（2024年度卒）ロアッソ熊本（J3）  
吉田真那斗（2023年度卒）サガン鳥栖（J2）  
山口 卓己（2022年度卒）大分トリニータ（J2）  
宮寄 海斗（2022年度卒）アスルクラロ沼津（J3）  
根本 凌（2021年度卒）水戸ホーリーホック（J1）  
藤本 一輝（2020年度卒）アビスパ福岡（J1）  
綿引 康（2019年度卒）相模原SC（J3）  
奥田 雄大（2019年度卒）奈良クラブ（J3）  
樋口 雄太（2018年度卒）鹿島アントラーズ（J1）  
松田 天馬（2017年度卒）京都サンガ（J1）  
馬渡 洋樹（2016年度卒）東京ヴェルディ（J1）  
藤山 智史（2016年度卒）ブラウブリッツ秋田（J2）  
福森 健太（2016年度卒）ギラヴァンツ北九州（J3）  
吉満 大介（2014年度卒）アルビレックス新潟（J2）

○その他

日本サッカー協会、Jクラブ指導者・フロント、中学校体育教員、高校体育教員、大学教員、消防士、警察官、市役所職員、県庁職員、自衛隊、JTB、楽天、積水ハウス、住友林業、NTT、KDDI、日本航空、日本生命、JR、福岡放送、鹿児島放送、銀行員、本田技研等



## 施設

### サッカー場



全面天然芝で、ナイター設備も完備されており、サッカー部の公式試合でも使用されています。主にTOPチームが練習で使っています。

### ホッケー場



公式競技用の広さを有しており、全面天然芝です。主に1stチーム、2ndチームが練習で使っています。

### クラブハウス



屋外運動施設（サッカー場・ホッケー場間）に設けられています（令和4年3月設置）。

プレイ中の怪我・熱中症の受傷時に救護、避難する場所として安心・安全な教育環境の確保、また、屋外運動施設使用時に座学・ミーティング等を行う場所としての役割を持つ施設です。

### トレーニングルーム



屋学内に2箇所設けられており、全身持久力を高めるための有酸素トレーニングマシンをはじめ、身体各部位を効果的に鍛えるためのトレーニングマシンやフリーウエイト等も数多く備えています。

## 測定

### GPS

GPSを練習や試合で使用し、総走行距離、最高速度、スプリント数、走行方向、攻撃方向などのデータを競技力向上のために分析しています。



### フィールドテスト

年に2回、スポーツパフォーマンスセンターの最新機器を使用し、50m走、切り返し測定、ドリブル測定、ジャンプ測定、ヨーヨーテストを行います。



## 受験生へメッセージ



サッカー部主将

鹿屋体育大学は、高い目標を持った最高の仲間と出会い、互いに切磋琢磨しながら成長できる場所です。ここではただ競技に取り組むだけでなく、スポーツに関する様々な夢を持つ仲間から刺激を受け、多角的な視点からスポーツにアプローチするおもしろさを学べます。何より自分の世界が大きく広がるはずです。受験はとても大変だと思いますが、皆さんが持っている力を全て出し切り鹿屋体育大学に来てくれることを心から願っています！



学生アナリスト

鹿屋体育大学には、トップレベルの教員、最先端の設備、そして高い競技レベルを持つ学生が集う、スポーツを学び、打ち込むには最高の環境があります。スポーツを学問的に深く探求しながら、高い熱量の中で自分の可能性を極限まで押し広げられるのが最大の魅力だと思います。生涯の仲間と共に挑戦を続け、大きく成長していきましょう。皆さんが鹿屋体育大学へ来てくれることを楽しみに、受験勉強を心から応援しています！

## 鹿屋体育大学サッカー部SNS案内

### ホームページ



### Instagram



### X



### YouTube



## お問い合わせ

### 国立大学法人 鹿屋体育大学

〒891-2393  
鹿児島県鹿屋市白水町1番地  
教務課 入試係  
E-mail: nyushi@nifs-k.ac.jp  
TEL: 0994-46-4869



鹿屋体育大学HP  
(受験生ページ)

# 入学試験

## 新たな総合型選抜（A.C.E.サポーター入試）

### この入試について

現在、スポーツ界では、多方面からスポーツを「ささえる」人材の存在が、ますます重要性を増しています。本入試では、将来、スポーツを「ささえる」活動で社会に貢献するビジョンと意欲を有する者を対象としています。スポーツの得意・不得意は問わず、実技試験は課しません。

本入試における、スポーツを「ささえる」活動の「ささえる」とは、スポーツに関わる「する」以外の全ての活動を指します。例えば、スポーツを、指導する・運営する・開発する・創る・企画する・研究する・集める・書く・発信する・伝える・手がける・測定する・繋げる・立ち上げる・解析する・経営する・支援する…等。あくまで一例ですので、ここにはないものでも構いません。あなたの思い描くビジョンを掲げてください。

※A.C.E.とは、Active、Creative、Eliteの頭文字をとった略で、能動的で創造的なエリートを指します。

### 選抜方法

【第1次選考】スポーツ、武道、体育及び健康づくりを「ささえる」活動に対して、価値創造的なビジョン及び、それを実現できる能動的な行動力、マナー、表現力の有無について、プレゼンテーション動画及び書類審査により判断します。

【第2次選考】価値創造的なビジョン及び、それを実現できる能動的な行動力、マナー、コミュニケーション能力の有無について、グループディスカッション及び口頭試問により判断します。

【募集人員】スポーツ総合課程5名

【選抜日程】第1次選考：出願受理後、動画及び書類の内容をもとに審査を行います。第2次選考：10月初旬から中旬（予定）

## 一般選抜（前期日程）

### 入学試験の基本方針

- 入学後の教育に十分に対応し自らの趣向性にあうように、文系・理系に特に偏ることなく、さらにこれからのグローバル化した社会に対応するために外国語の基礎学力を備えているかについて、大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目の成績により判断します。
- スポーツ、武道、体育及び健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力、および知識や経験に基づく思考・判断・表現力などについて「プレゼンテーション+口頭試問」試験により判断します。
- スポーツ・武道に関する基礎的な実技力またはあらゆるスポーツに関する基礎的な運動能力を課程別に指定した実技検査により判断します。

### 選抜方法

大学入学共通テスト並びに本学が行う試験（「プレゼンテーション+口頭試問」試験、実技検査）の成績、調査書及び指定調査の内容を総合して選抜します。

## 2種類の配点方法

### 実技検査で逆転したい人はこちら！

#### 【A選抜】募集人員60名

#### 「プレゼンテーション+口頭試問」試験



下のカテゴリーの中から1科目ずつ（合計3科目）選択し、全て200点換算されます。

国語 or 数学  
数学Ⅰ 84点→168点

地理歴史 or 公民 or 理科 or 情報  
物理 80点→160点

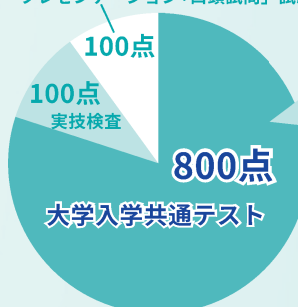
外国語  
英語 125点

合計 453点

### 大学入学共通テストでリードしたい人はこちら！

#### 【B選抜】募集人員6名

#### 「プレゼンテーション+口頭試問」試験



600点満点で換算したものを  
800点満点に換算します。

【例】  
合計 → 453点/600点満点  
→ 604点/800点満点

※どちらの配点方法で受験するか選択可能。また、【A選抜】と【B選抜】との併願も可能。

## 大学入学共通テスト

| 国語 or 数学                               | 地理歴史 or 公民 or 理科 or 情報                                                                                                                                                     | 外国語                               |
|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 国語<br>数学Ⅰ, 数学A<br>数学Ⅱ<br>数学Ⅱ, 数学B, 数学C | 地理総合, 地理探究<br>歴史総合, 日本史探究<br>歴史総合, 世界史探究<br>公共, 倫理<br>公共, 政治・経済<br>地理総合 / 歴史総合 / 公共 ※<br>物理<br>化学<br>生物<br>地学<br>物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎 ※<br>情報 1 ※の科目は2出題範囲を選択解答していること | 英語<br>ドイツ語<br>フランス語<br>中国語<br>韓国語 |

## 実技検査

受験者の基礎的な運動技能や運動能力を測るために、実技検査を行います。サッカーの競技歴を有する多くの方は、「サッカー」または「運動能力検査」で受験しています。

## スポーツ総合課程の過去3年の合格者平均点

2026年：679.6点 | 2025年：693.1点 | 2024年：676.2点

## 学校推薦型選抜

### 入学試験の基本方針

- スポーツ・武道の分野で高い競技能力を有し、将来トップレベルの競技者になりうる資質について、課程別に指定した実技検査により判断します。
- スポーツ、武道、体育及び健康づくりを指導・普及させるための基礎的な知識、また指導・普及における課題に対する思考・判断・表現力について小論文により判断します。
- スポーツ、武道、体育及び健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて面接により判断します。

## 総合型選抜（A.C.E.アスリート入試）

### 入学試験の基本方針

- スポーツ・武道の分野で極めて優れた競技能力を有し、近い将来国際大会等で活躍しうる資質について競技実績により判断します。
- 本学への明確な志望動機や入学後の競技や学生生活に関するビジョンのほか、リーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて自己推薦書や「プレゼンテーション+口頭試問」試験により判断します。